

作家さんに会いに行ってきたよ!第7回「maani」



会いたい人、たくさんいますね。今月は彩り革作家の「maani」さん!ここ一年ほどイベント出展をお休みされてネットメインに活動されていましたが、最近イベント復帰されたので満を持して会いに行ってきました。ヌメ革に直接彩色した独自の彩りは、シックなものからキュートなものまでさまざまな雰囲気。彩りは必ず作品のメインやポイントに使われていて、革の武骨さと色彩の豊かさの相反する雰囲気が「maani」作品の大きな魅力です。小さなころから作ることに親しんでいた「maani」さんですが、最初の仕事はお堅い仕事。でも、私じゃなくてもいい仕事

に疲れて退職し、やりたいことをやろうと決心。小さいころからの夢を追ってものづくりへの道へと復帰します。そこで選んだのが「革」でした。きっかけは革のアクセサリはあまりないこと、革は軽くて、味わいもあるから。幸いにも手仕事好きなおばあちゃんのおかげで道具はそろっていました。独学で作品を作る日々、段ボールいっぱいの失敗作も捨てられない大切な記憶です。彩りが生まれたのは、革のアクセサリを試作したところなんだか物足りないと感じたから。じゃあ色を付けたらどうだろう?と革を彩色したのが彩りの始まりでした。自分のカラー、自分らしさを出したいという思いが彩りというカタチになりました。作家になると決めたときから「売る気」でもものづくりを始めた「maani」さんのブレイクは、SNSを通じた委託販売でした。作品をアップしたところ、デパートからお誘いがあったのだとか。(その前に知り合いのお店で作家デビュー済み)委託で一年ほどたった時、新しいことを始めたいとハコイチ出展を決めたんだそう。初出展は2019年の1月、初めての対面イベントでした。緊張したものの周りの作家さんがみんな優しく、楽しかった!とのこと。思ったよりも売れて、終了する頃には次の申し込みをしてくれました。「ハコイチはホームで、



ベース。アットホームで本当に楽しい!」と言ってくれた「maani」さん。どうしてハコイチに出展したくなるのかを聞いたところ、「モチベーションが上がるからだと思います!作家にとってモチベーションを上げることは大事だから、ハコイチに出ることはある意味売り上げを上げることよりも価値があると思います。ハコイチは作家さんにとって大切な場所なんだと思います!」そんな風に思ってもらえて、とても嬉しいです!



令和4年5月21日発行
発行人: 合同会社ハコイチ



「Teahousemiya Café」オープン!

きたる6月10日(金)に「Teahousemiya Café」がオープン!

福っ茶をはじめオリジナルのハーブティーがハコイチでも大人気の「Teahousemiya」さんが福津市の上西郷にカフェをオープンされますよ。季節のハーブや畑のオーガニック野菜をメインに、発酵もののおやつ、アレンジハーブティーなど、miya店長がひとりできりもりの身体と心に優しいのんびりカフェだって!オープンしたら行ってくるので、レポしますね。カフェオープンに伴って、ハコイチへの出展は今月が最後になりますのでお買い忘れのないように!



Teahouse miya Café

福津市上西郷648-3
水~土:11:00~17:00



今月の映画「しあわせのパン」

「maani」さんのお気に入り映画です。北海道は月浦、湖が見渡せる丘の上にあるパンカフェ「マーニ」。水縞くんとりえさんの夫婦がパンを焼きコーヒーを淹れ、料理をつくる。「マーニ」には日々いろんなお客様がやってくる。彼らが見つける「しあわせ」とは?ハコイチと同じように出会いの場である「マーニ」、どんなドラマが待っているのでしょうか。パンとコーヒーとともにぜひご覧ください。(写真はSatolぱん工房)